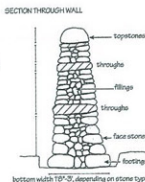
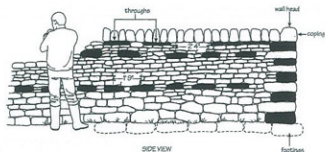


COTSWOLD STONE コッツウォルドストーン

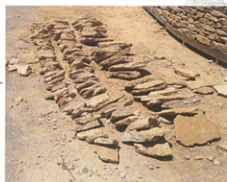
乱形（ドライウォーリング）積み手順

① 壁として単独で建てる場合



1. 並べる

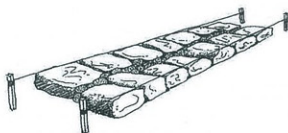
使用する石をすべて袋から出し、大きさ・厚さが分かるようにすべて並べ、積んでいく順番や使う場所を考えてみる。



手前から大きい石順に並べる

2. 基礎石

構造物の大きさによっては、水系が張れるような型枠の設置も考える。大きく安定した石を選び、それを基礎石とし、その石が埋まる程度の深さまで、地面を掘り下げます。天面がフラットになる様に据え付け、中心部には、碎石・小石を入れ、ズレが生じないようにする。

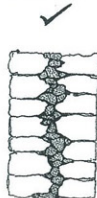


基礎石

3. 石積み

二段目の石を前面1列並べその後面を合わせながら二段目を仕上げる。石の形を見ながら下の石との安定を取り動く場合は、中心側に小石をはさみながら、必ず動かない様にする。前後の石の隙間(中心部)には、空間が無い様に隙間なく大小の小石を詰める。前の石と後の石の高さは同じになる様にする。

SIDE VIEWS
right



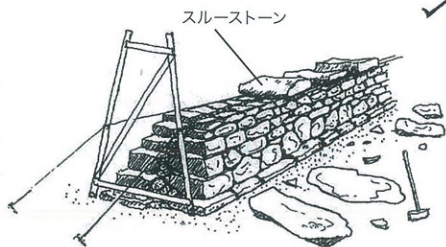
wrong



小石を隙間なく入れる



小石も貴重な材料となります

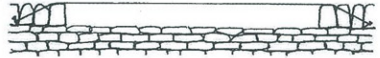


4. 5段程度積んだ時点で、前後を通す石(スルーストーン)を約60cmおきに入れる(全体の強度を増すため)

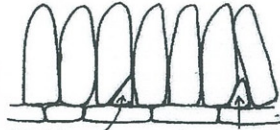
5. 目標とする高さ(1.2~1.6m)まで積んだ後、最上部には前後を覆う平たく大きめの石を被せる(カバーストーン 被せ石)



カバーストーン



6. 天部には、左右に大きめの座りのいい石を選び、その間には石を立てる様に重ねて並べる。隙間には、薄い石をはさみ込んで全く動かない様にする。完成



suitable wedge

wedge protrudes, reducing contact between topstones

② 片面積みの場合 (花壇 低い土留めの利用 H600 程度)

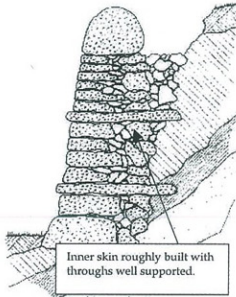
1. 左ページ1、2 同様

2. 二段目の石を1列並べ仕上げる。

石の形を見ながら下の石との安定を取り動く場合は、奥側に小石をはさみながら、必ず動かない様にする。
 ※土留めとして使う場合や積み石が小さく不安定な場合は、奥側にモルタルを詰め込み、強度を確保する。
 ※石の量を減らしたい場合は、石の間にモルタルを挟む事も有効(この場合は、石に付着している砂、泥を十分に落とす事)。



3. 目標とする高さまで積んだ後、最上部の石は少し大きめにし、しっかりモルタルで固定する。完成



Inner skin roughly built with throughs well supported.

※両面積みの場合 1t(一袋)で約1.5~2m²
 片面積みの場合3~4m² 積み事ができます。